

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区　名	旭区
学 校 名	大阪市立生江小学校
学校長名	喜多 芳星

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立生江小学校では、第6学年 17名

平成31年度(令和元年度)「全国学力・学習状況調査」結果の概要

[学力について]

平均正答率は、国語・算数とともに、大阪市平均、全国平均を上回りました。国語は2.2ポイント、算数は2.4ポイント、全国平均に比べて上回りました。

[学習状況調査について]

「自分には、よいところがあると思いますか」は、88.3%の児童が肯定的回答をしました。全国平均より7.1ポイント高い数値でした。「将来の夢や目標を持っていますか」は、100%の肯定的回答でした。全国平均より16.2%高い数値でした。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだとおもいますか」も100%の肯定的回答でした。全国平均より2.9%高い数値でした。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

6年間、学習を積み重ねてきたことが結果として出たと考えられます。

[国語]

領域別にみると、全国平均より「話す・聞く」(10.1ポイント)、「書く」(8.2ポイント)、「読む」(0.7ポイント)、それぞれ高い数値でした。「言語と国語特質」に関しては、5.3ポイント低い数値でした。

[算数]

領域別にみると、全国平均より「数と計算」(4.0ポイント)、「図形」(11.5ポイント)、「数量関係」(1.4ポイント)、それぞれ高い数値でした。「量と測定」に関しては、7.8ポイント低い数値でした。

質問紙調査より

肯定的回答が「自分には、よいところがあると思いますか」88.3%。(全国平均より7.1ポイント高い)「将来の夢や目標を持っていますか」100%。(全国平均より16.2%高い)「いじめは、どんな理由があってもいけないことだとおもいますか」100%。(全国平均より2.9%高い)ことから、本校の人権教育、また、地域・保護者と連携した取り組みを通して、自分や他人を大切にする心が育っていると考えられます。

「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか」では、2時間以上が17.7% (全国29.3%) でした。また、30分より少ないが29.4% (全国9.9%) でした。家庭と連携して、自主的に学習する意欲を醸成していくことが課題です。

今後の取組(アクションプラン)

習熟度授業を効果的に展開し、来年度から施行される新学習指導要領に則り、国語、算数、共に主体的・対話的で深い学びを推進していきます。国語科においては、「話す・聞く」「書く」「読む」領域での学力をさらに伸ばすとともに、「言語と国語特質」の領域では、児童が学習内容を習熟する手立てを講じていきます。算数科では、「数と計算」「図形」「数量関係」領域での学習をさらに積み重ねるとともに、「量と測定」の領域では、児童が確かな理解ができるよう授業を行っていきます。